

# ひたちなか市 自治会連合会だより

第63号

発行日 平成30年2月25日  
発行者 ひたちなか市自治会連合会  
広報委員会  
(事務局:ひたちなか市市民活動課)  
TEL 273-0111

## 茨城県知事との懇談会

本市自治会連合会から県道水戸那珂湊線の事業促進など4項目を要望

茨城県自治会連合会では、「茨城県知事との懇談会」を、11月14日にホテルクリスタルパレスで開催しました。

県自治会連合会の加盟団体は、19市村で構成され、現在、本市連合会の飯島光則会長(弥生西谷津自治会長)が、県連合会の会長を務めています。

社会が成熟化し、少子高齢化が進み、地域の連帯意識が希薄化傾向にある今日。安全・安心なまちづくりを推進するため、地域において、自治会の役割が重要となっています。行政と自治会が協働で、住民生活の安定や福祉向上を図るため、県政に対する要望・質問の機会として、知事との懇談会が開催されました。

当日は、本間市長、打越市議会議長、地元選出県議会議員及び本市を含む19市村から100名を超える自治会関係者が出席しての開催となりました。

8月の知事選挙で初当選した大井川知事は、あいさつの中で、新しい産業の創出、人口減少への対応、人材育成、観光創出など、今後の県政への取り組みについて、抱負を話されました。

県政への要望・質問は、時間の都合上、事前に参加市村から12項目が出されており、その回答が別紙で配布されました。本市連合会からは、「県道水戸那珂湊線の事業促進」、「茨城北部幹線道路・水戸外環状道路の整備促進」、「ひたちなか地区の未利用地の活用」、「県道那珂湊那珂線の街路樹の管理」の4項目が事前要望・質問として出されており、それぞれ回答が出されました。



本市が県に要望している項目と重複した事案もありましたが、住民組織である自治会も懸案事項の実現に、大きな期待を寄せていることを理解していただく絶好の機会となったと思います。

知事から直接、県政の基本方針や施策・課題等をお聞きでき、また、それぞれの市町村が抱えている課題等を理解していただく有意義な懇談会でした。



## 地域をつなぐ人づくり

最優秀  
標語

### ひろげよう 人とつながる 地域の輪

須藤 久美子〔佐野中〕



▲各コミュニティ  
まつりでの  
展示の様子



表彰式出席者と記念撮影

地域づくりの担い手となる自治会や地域活動への理解と参加を推進することを目的に中学生を対象として自治会活動推進標語の募集を実施しました。11月5日(日)に産業交流フェア特設ステージで表彰式が行われ、応募数1,117点から選ばれた入賞者には賞状と記念品が贈られました。

応募作品は、ひたちなか市産業交流フェアや各コミュニティまつりで展示し、生徒が標語に込めた地域のふれあいや支え合いについての力作をたくさんの方々に見ていただきました。

〔2面に関連記事〕

自治会活動推進標語表彰式

## 地域を好きな人、地域に関わる人を増やす

子育て支援・多世代交流施設  
「ふぁみりこらぼ」  
10月16日(月)



今年度は、「地域を好きな人、地域に関わる人を増やす」をテーマに実施しました。10月に新しくオープンした子育て支援・多世代交流施設『ふぁみりこらぼ』を会場に、市民社会パートナーズ代表 庄嶋 孝広氏に講演いただきました。

研修を通して、地域コミュニティで人材を増やすには、住民の支えあいと助け合いにより、連帯感を育むことが大事であると感じました。また、地域の生活環境・安全福祉・文化芸術・子供の健全育成・スポーツ・健康増進など自発的な活動を通じ住民同士の交流を深め、積極的な参加を生み出すことが必要とのことでした。

今後、地域の魅力アップや地域に貢献してくれる人材発掘に繋げていきたいです。

### 地域活動担い手講演会

## 地域での人材発掘・育成について

ひたちなか市那珂湊総合福祉センター  
(しあわせプラザ)  
11月22日(水)

「地域での人材発掘・育成について」をテーマとして、常磐大学コミュニティ振興学部人間科学部教授の池田幸也氏に講演いただきました。

この講演会は、「将来に向けた自治運営のあり方事業」の第2弾として実施しました。

地域活動をしている各団体の深刻な共通の課題として「担い手不足」が挙げられます。いかに担い手を確保できるかが、これからの地域活動の生死に関わるといっても過言ではないと思います。

人間関係が希薄化しているなか、地域と行政とが密に連携し、日頃からまちづくりをすることが大切であり、明るい地域を築くため、思い切って一歩を踏み出すことが必要です。



## 福島市中央地区町会連合会視察研修受け入れについて

11月7日(火)、福島市から引地洲夫 中央地区町会連合会会長ほか17名が視察研修のため、本市に来訪されました。

研修会には、当自治会連合会から三役及び専門委員会委員長が出席し、住民自治組織の現状と課題について活発な意見交換を行いました。

昨今、自治会員の減少や役員の担い手不足などで、自治会活動の困難さが増している状況にあります。両市の共通課題として、後継者の育成や将来的な自治会運営が挙げられました。

意見交換会では、自治会活動に若い人を取り込むため、防災訓練に小学生や保護者が参加するなどの活動紹介がありました。子どもたちが自治会行事に参加し、地域に関わりを持つ事が大切であり、大人になっても地域に戻ってもらえるような取り組みが必要であると感じました。

各自治会では将来に向けて、手探りで課題解決策を探しているところです。自治会連合会でも、将来的な自治会運営が継続できるよう情報共有に取り組んでいきます。



活発な意見交換の様子

### 自治会活動推進標語受賞作品

#### 最優秀賞

ひろげよう 人とつながる 地域の輪  
須藤 久美子 (佐野中)

#### 優秀賞

「こんにちはあいつ笑顔でちやかに かがや町と地域の輪  
佐藤 ももか (勝田一中)

地域のふれあい 支えあい みんなで創る ひたちなか  
古田玉 海渡 (勝田一中)

手と手と手 たくさんつなげて 地域の輪  
鈴木 紗也加 (勝田二中)

我が地域 あの子もとなりも 顔みしり  
平 翔 (勝田二中)

支えあおう 地域は大きな 第二の家族  
千田 かすみ (勝田二中)

世代越え みんなで築く 心の輪  
澤島 未怜 (勝田三中)

支えあい そこから生まれる 地域愛  
綿引 双葉 (勝田三中)

世代越え 交わす笑顔で 町づくり  
清水 史也 (佐野中)

あいつで あふれる笑顔 つながる地域  
大類 帆夏 (天島中)

支えあう 老若男女の 壁こえて  
鴨志田 凜華 (天島中)

増やそうよ 地域のふれあい 支え合い  
石塚 莉音 (田彦中)

支えあい 増える笑顔と 深まるきずな  
吉田 果音 (田彦中)

つなぐ手と ふれあう心で 自治会活動  
王 婉竹 (田彦中)

声かけで つながる信頼 地域の輪  
横須賀 瑛稀 (那珂湊中)

支え合う みんな大好き ぼくの町  
鈴木 健成 (那珂湊中)

あいつで つながる地域の 笑顔の輪  
根本 彩奈 (平磯中)

あいつは 人を笑顔にする魔法  
杉山 光 平磯中

自分から 入って協力 助け合い  
辻井 愛花 (阿字ヶ浦中)

あいつは 心をつなぐ 第一歩  
黒澤 芽生 (阿字ヶ浦中)

(敬省略)

## 自治会(長)の活動報告について

### 勝田二中生徒の下校時の見守り —自治会も学校・PTAと連携—

子供は、地域の宝。子供の安全な通学を確保することは重要な課題であり、自治会が学校、PTAと連携・協働することも大切なことです。

勝田第二中学校は、全校生徒725名、その内、60%を超える約450名が自転車通学で、登下校の安全確保が課題となっています。一昨年には、自転車で登校する生徒が、国道6号を横断中に交通事故に遭い、尊い命が失われた事故が発生してしまいました。

第二中学校では、先生とPTAが連携し、安全確保に努めておりますが、まだ不十分な個所があります。10月に、中学校から二中学区地域の輪をつくる会を通して、各自治会へ現状説明と今後の協力について、会議が設けられました。

毎週月曜日が、全校生徒の一斉下校となるため、今まで不十分な個所について、11月から、各自治会が学校及びPTAと連携して立哨することになりました。

下校する生徒たちは、「こんにちは」と声をかけ、地域での見守りを通して、安全意識の高揚、地域への認識・愛情を育むことも期待されます。

地域住民が、日常的に良好な関係を築き、地域ぐるみで子どもの安全を守るコミュニティを確立することが大事ではないでしょうか。



### 産業交流フェア「交通安全フェスティバル」に参加

11月4日(土) 総合運動公園

「交通安全フェスティバル」に高齢者クラブや交通安全母の会などの団体と共に参加しました。会場は晴天に恵まれ、多くの家族連れで賑わい、シートベルト体験車や白バイ展示、交通安全〇×クイズなどの展示・体験コーナーは盛況でした。自治会連合会では、午前の部・午後の部に分かれ、来場者に交通安全と併せて自治会加入の啓発品も声かけをしながら配布しました。



### 総合防災訓練の意見交換会

11月25日(水) ワークプラザ勝田

8月26日(土)に実施された総合防災訓練の意見交換会が行われました。

全体の実施概要説明の後、特色ある訓練を行った自主防災会から実施報告がありました。「訓練の集合場所・日時を事前に知らせてだけで、当日に訓練内容を班長等に伝え訓練を実施した。戸惑いはあったが概ね理解を得られた。」「子どもが親に頼らない避難訓練を行った。」などの内容でした。

また、今後の課題として「訓練がマンネリ化しやすい。」「多くの方に参加してもらうために訓練内容を変えて行う。」「災害対策等の計画はあるが体制が整っていない。」などの意見がありました。

身近な訓練をとおして、いつ起こるか分からない災害への備えをしておきたいと感じました。



### 消 防 出 初 式

消防・防災に対する地域の連携を強めようと新年恒例の市消防出初式が1月7日、総合運動公園北側の多目的広場で開催されました。式には、消防関係者1,115名(17団体)が参加し、消防車両44台も出動しました。式典の部で本間市長は「今後とも、消防・防災体制のさらなる強化を図り、安全安心なまちづくりに全力で取り組んでいく」と述べました。また、消防活動への功績を讃え、永年勤続功労者延べ65名、部隊1団体(第15分団)が表彰されました。徒歩部隊パレードの部では、83の自主防災会員が飯島隊長を先頭に3小隊、7列横隊にて堂々と行進し、勇士を披露しました。演技の部では、勝田あすなろ保育園の園児による和太鼓演奏、笹野消防署員による屈折式はしご車を使用した災害救助演技、消防団並びに特設自衛消防隊の車両21台による放水演技が披露され、今年1年の無事を祈りました。



自主防災会によるパレード

# 自治会トピックス

## 第13回文化展開催 津田第三・津田東

第13回文化展が、11月3日～5日の3日間、津田集会所において開催されました。

今年度は、小学生を含む愛好家70余名による書・絵画・写真・陶芸・手芸・木工・活花など多岐にわたる作品が一堂に展示され、約250名が見学に訪れました。

この文化展は、毎年11月3日の文化の日に合わせて開催されています。地域愛好家にとっては発表の場となっており、地域の方々の芸術に親しむ期間として好評を得ています。



## 健康講座を開催しました 馬渡

11月21日(火)、講師2名をお招きし、「低栄養予防と減塩について」と「血圧について良く知るために」をテーマとした健康講座を開催しました。講座では、塩分控えめなバランスの良い食事をとりましょう、血圧を適正に保つために適度な運動をしましょうなど、健康維持に役立つ話を聞くことができました。参加者は25名おり、熱心に耳を傾けていました。最後には脳トレ体操で盛り上がり、楽しく学ぶことができました。



## 常陸那珂港見学 東石川一丁目

東石川一丁目自治会では、2年前に「会員の皆様と顔見知りになろう!」を合言葉に、親睦会「神明クラブ」・高齢者クラブ「神明プラチナ会」を立ち上げました。

各種サークル活動の他、施設見学も実施しています。昨年度は日立G1タワーを見学し、今年度は25名の参加者によって常陸那珂港を見学しました。

大型クレーン・コンテナや防波堤建設の状況、自動車の積み込み風景は、迫力を感じさせるものでした。



## 組長懇談会と防災訓練 田彦西

田彦西自治会(754世帯)では、組長(84組)を対象に災害時への備えを意識することを目的とした行事を年2回開催しています。

例年、6月に組長懇談会で、自主防災組織とその役割を確認し、12月に自主防災訓練を実施しています。

今年度の自主防災訓練では、市政ふれあい講座「避難行動要支援者支援制度」についての説明を受けました。また、実技では地元の消防団の協力のもと初期消火・給水訓練と非常食の試食を行いました。



## 平成29年度 地縁による団体功労者 総務大臣表彰受章

しみずよしぞう  
青葉・石川自治会の清水吉藏会長が平成10年4月から現在まで19年の永きにわたり、地域のまとめ役として自治意識の醸成と地区組織の充実強化を図り、地域の発展に貢献していることが認められ、総務大臣表彰を受章しました。

## 編集後記

新年を迎え、出初式を終えると、各自治会も次年度の準備に入ります。今年度は、久しぶりの秋の運動会や各行事も無事に終わりました。自治会では、社会情勢の変化に伴い、若年層の未加入や高齢化の進展に伴う加入者の減少など課題が多くでてきています。これらの課題を解決するためには、会員相互の協力がより大切になっています。協力し合って、楽しく会を進めていくことが自治会地域の安全・安心につながると思います。(連合会広報委員会)

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/4/5/index.html>

